

第三学区放課後児童クラブ 及び 周辺環境整備事業 住民説明会

■開催日時 令和7年1月20日（月）

午後7時

■開催場所 総合保健福祉センターにこ・ふる

大会議室

第三学区放課後児童クラブ整備 現状と課題

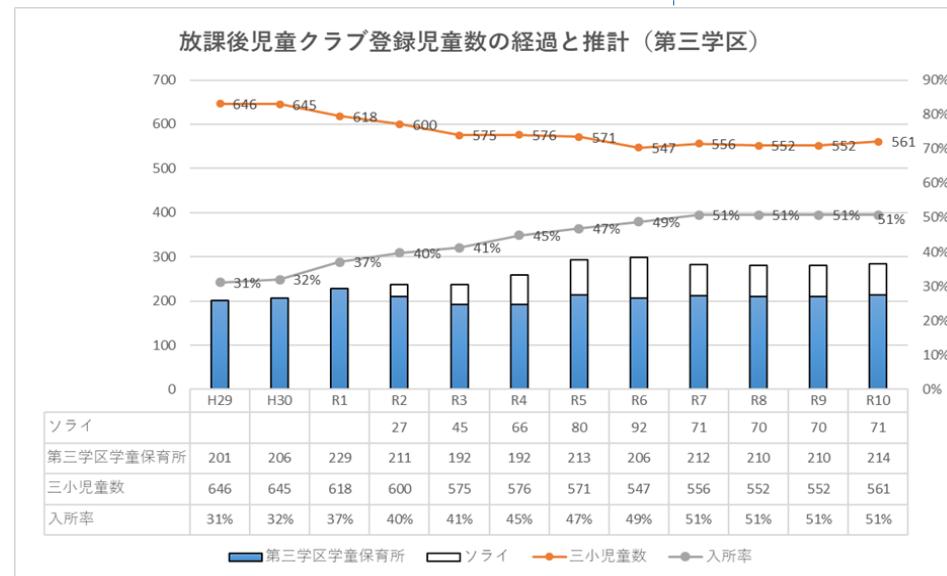
現 状

- 運営主体 第三学区学童保育の会
- 構成 こどもの家（2支援単位）
こどもの森（1支援単位）
こどもの城（1支援単位）
- 定員 165名
- 登録児童数 206名（R6.5現在）
- 平均利用児童数 187名
- 専用区画面積 214m²
- 児童1人あたりの面積 1.14m²（基準値1.65m²）

入所状況と今後の推計

実績

推計値



課 題

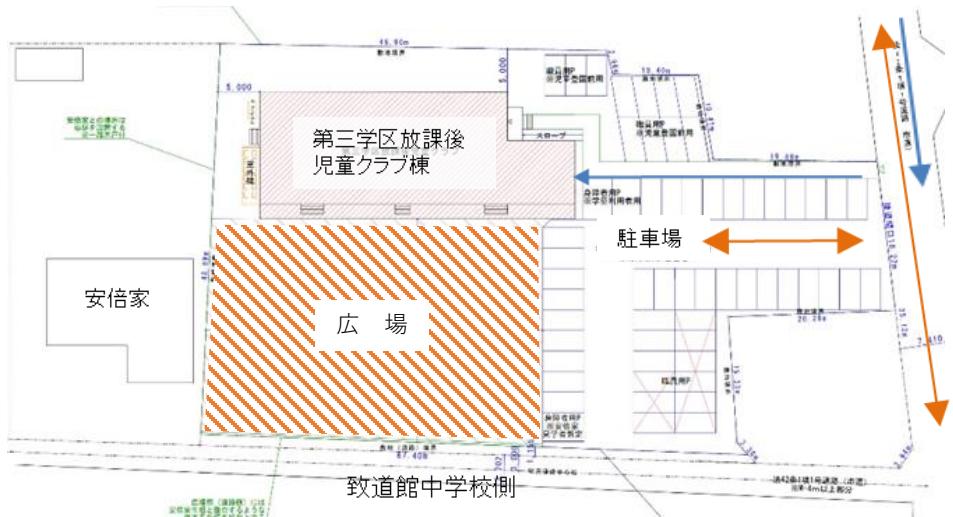
- 施設の老朽化
市有施設であるこどもの家の施設は建築から44年経過しており、未耐震である
- 施設の狭隘化
児童1人あたりの専用区画面積（1.65m²）を満たしていない

各施設の概要

	こどもの家	こどもの森	こどもの城
施設概要	コンクリート2階建 建物面積248m ² 昭和54年建築（未耐震）	木造1階建（プレハブ） 建物面積107.4m ² 平成18年建築	木造1階建（プレハブ） 建物面積148.73m ² 平成25年建築
施設所有者	市普通財産 (旧鶴岡家政高等学校如蘭会館)	民間施設 (土地は市有地)	民間施設 (土地は市有地)
支援の単位	2	1	1

第三学区放課後児童クラブ及び周辺環境整備事業 整備構想概要

〈配置計画〉



〈土地活用の方針〉

- ① 増加する放課後児童クラブ登録児童の受け皿となる公設民営の学童施設の整備
- ② 子どもの創造性を育む遊び場を整備
- ③ 地域の特色に併せた、子どもの感性を育む環境を整備

○ 放課後児童クラブ施設

- ・平均利用児童200人程度の受入れが可能な面積を確保
- ・障害のある子どもも利用しやすい施設環境
- ・安倍家住宅と調和する外観 ・子どもの意見を反映

○ 広場

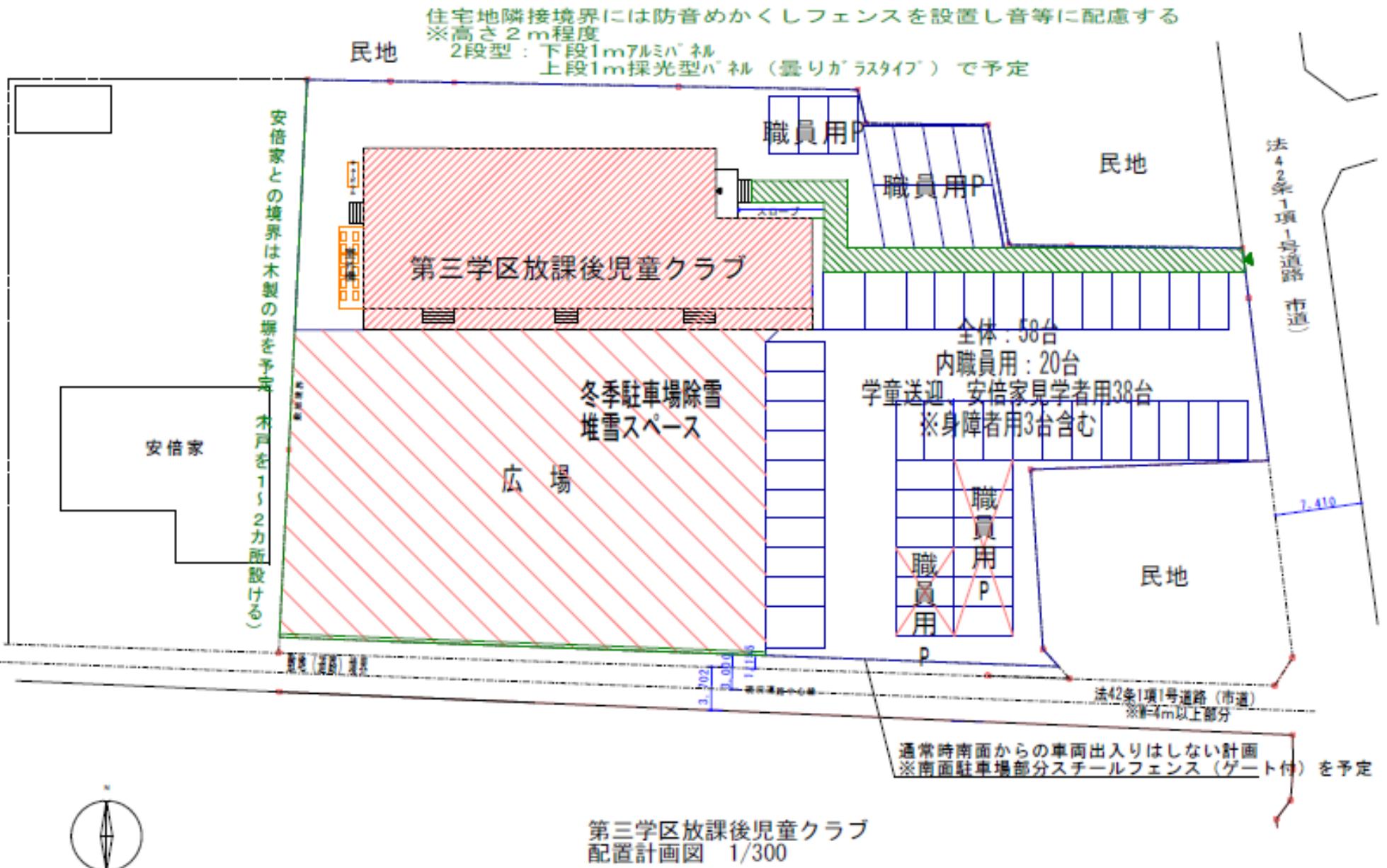
- ・子どもの創造性を育む遊び（場・ツール）の提供
- ・歴史的風致に融合する空間 ・子どもの意見を反映
- ・松本十郎生家跡の表示 ・功績を記したパネルの設置

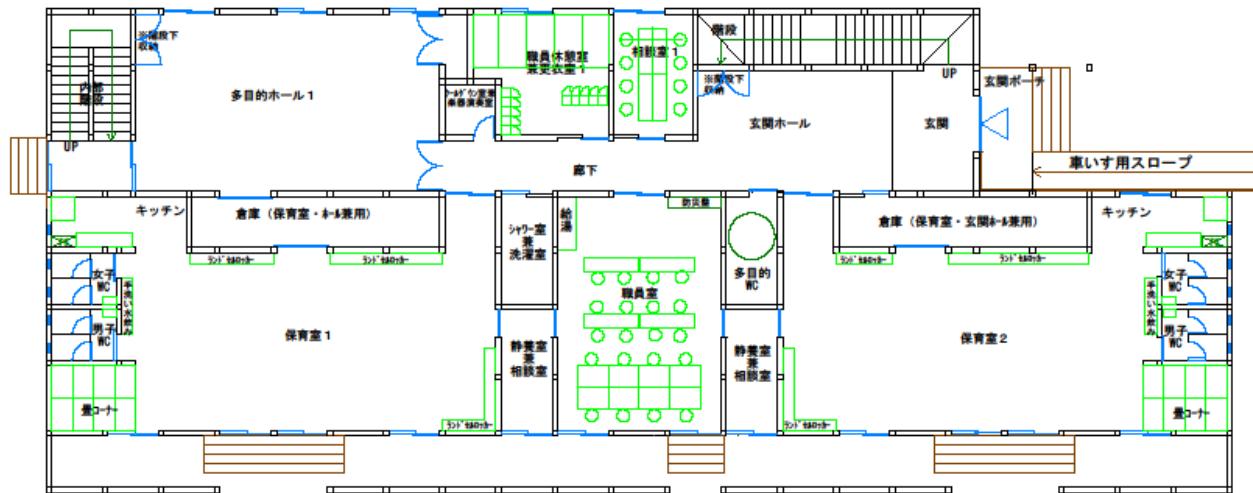
○ 市指定文化財（史跡）安倍家住宅整備

- ・武士の暮らしを伝える施設として保存修理・整備
- ・整備後、学童と連携した活用

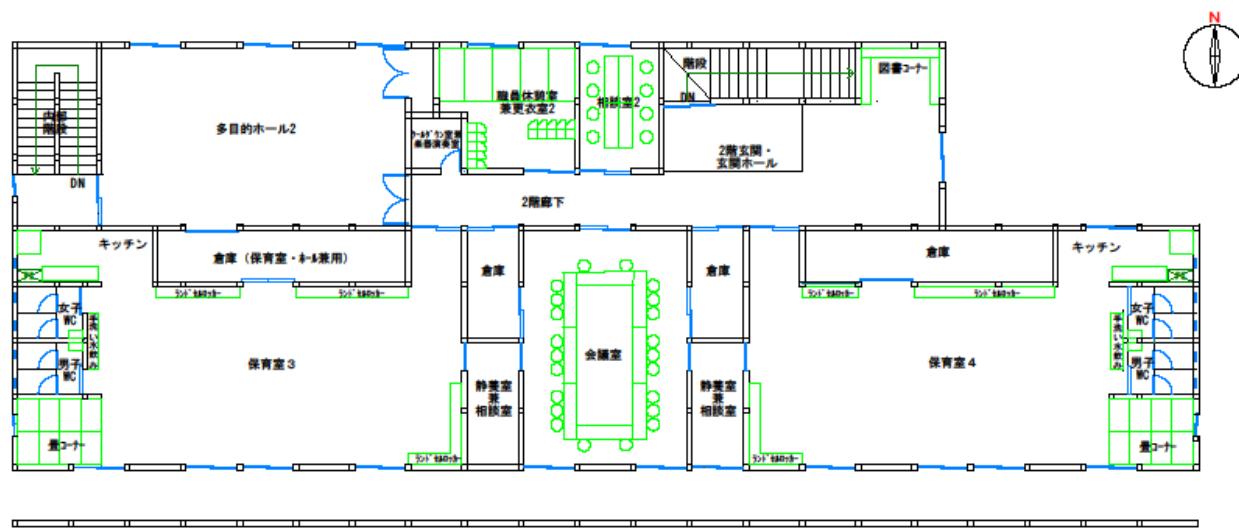
○ 周辺整備（駐車場等）

- ・児童や利用者が安全に通行できる動線の確保
(市道の歩道整備・敷地内歩車分離)
- ・周辺を通行する車両に配慮した車両動線
- ・駐車場が隣接する住宅地へ配慮した整備計画
(遮音フェンス、駐車向き)
- ・安倍家住宅見学者向けの駐車場の整備





1階平面図



2階平面図

1.82m



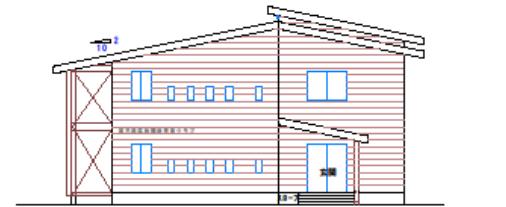
北面立面図



西面立面図



南面立面圖



東面立面図

若葉町に残る江戸時代後期に創建された「安倍家住宅」は、令和9年度中の公開に向け、現在、広く開かれ、親しまれる文化財という方向性のもと、文化財・地域・学童・観光関係の方々で構成される利活用検討会で今後の活用方法について検討しております。そして、来年度から修理や整備を進めて参ります。

1. 「安倍家住宅」の概要

- (1)名 称 安倍家住宅(あべけじゅうたく)
- (2)所在地 鶴岡市若葉町地内 (敷地面積 1,366.95m²)
- (3)面 積 敷地 1366.95m² 建物185.12m²
- (4)建 物 安政6(1859)年創建 木造平屋建、茅葺屋根
- (5)所有者 鶴岡市
- (6)文化財指定 令和5年1月26日

2. 文化財としての価値

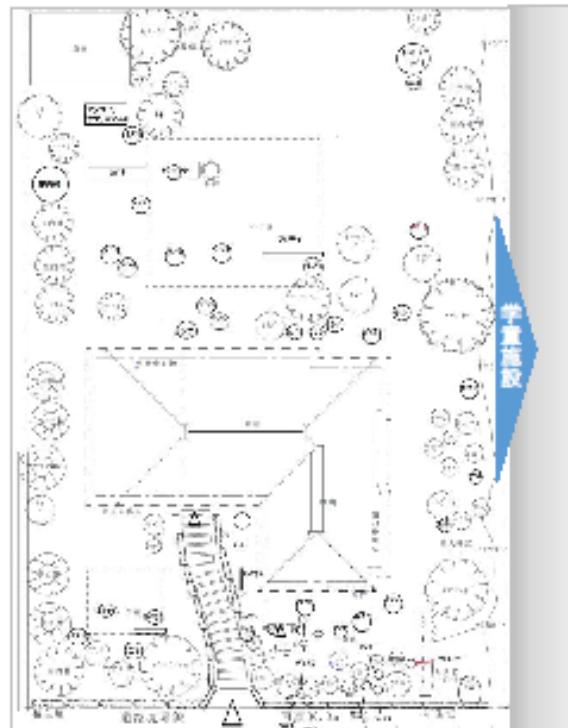
安倍家住宅は安政6(1859)年の創建で、敷地の広さや間口、建物等の配置、茅葺屋根や外壁を含め、藩政時代の100石取級の武家住宅の状況を極めてよく伝えている。敷地も分割されることなく今まで残ってきたことは大変貴重な事例。

3. 今後のスケジュール

- R6年度 利活用検討会
- R7年度 保存修理、見学会
- R8年度 保存修理、見学会
- R9年度 オープン

4. 配置図及び写真等

▼配置図



▼正面から



▼第1回安倍家住宅利活用検討会 (2024.12.19)



第三学区放課後児童クラブ及び周辺環境整備事業スケジュール

